

産業技術連携推進会議

医療福祉技術分科会

産業技術連携推進会議は昭和59年10月11日設立以来、各都道府県の産業技術センターをはじめとする公設研究機関相互、及び**独立行政法人産業技術総合研究所**との協力体制を強化し、産業技術の向上を図ることによって、我が国の産業の発展に貢献することを目的として、専門分野別や地域ブロック別に活動しています。

このなかで**医療福祉技術分科会**は、とくに医療・福祉の普及・高度化が進む中で、医療・福祉技術の研究・評価・対策・利用について、産業界に対する技術高度化支援を目的として活動しています。具体的には、メーリングリストによるリアルタイムの情報交換、国際福祉機器展における開発品の紹介、同時期に本分科会主催で開催される「福祉技術シンポジウム」で研究成果発表、さらに分科会ホームページを開設して情報発信を行っています。

健康・人間生活に密接していて様々な課題、技術が関わっている医療福祉技術産業を健全に発展させるためには、より幅広い産業技術、及び事業に関わる様々な立場の方々の連携・情報共有が欠かせません。そのため本分科会では個人加入による会員を基本とし、行政から研究・開発、医療福祉関連機関など公的機関のみならず、臨床現場、患者・ユーザ、企業・ボランティアまで、様々な領域、立場の方々から構成され、現在約800名の会員を擁しています。会員はご希望やご提案により自ら催しの企画・運営に関わることが可能です。

医療から健康福祉までを扱うヘルスケア産業は本来連続的につながった産業であるべきですが、実際は我が国では、薬事規制にかかわる医療業界と、かかわらない健康福祉業界とにわかれている傾向があり、そのギャップを取り払うことも本分科会の目的のひとつです。「良い医療製品、福祉製品、健康製品は売れる」というごく自然な経済体制が実現されるまで、現場に根ざした産業の育成支援を図っていきたいと考えています。

(独)産業技術総合研究所 人間福祉医工学研究部門内

医療福祉技術分科会事務局

〒305-8566 つくば市東1-1 中央第6

Tel:029-861-6718 Fax:029-861-6762

E-mail:hfst-jimu@m.aist.go.jp

URL: <http://www.aist.go.jp/renraku-kaigi/fukushi/>



出展物の御紹介



電気式人工喉頭

「ユアトーンⅡ・ゆらぎ」

(株)電制、北海道立工業試験場、東京大学

喉頭癌等で「声」を失った方々が、再び発声できるように開発した国産の人工喉頭です。1998年に製品化した初号器を高性能化し、新たに、肉声に近いゆらぎを付与することによって、より柔らかく、聞き取りやすい発声を可能にしました。内蔵の楽曲データを利用して演歌等も歌えます。



下肢機能評価装置

バイオフィリア研究所

リハビリ効果判定の定量化を可能にします。リハ医学は「障害の受容」をその中核に持ち、利き手交換などADL向上を図るものの障害を治さない事を当然としています。脳血管障害の後遺症から介護を要し寝たきりになって、長い人は10年以上もベッド上で過ごしています。国民生活の心配をリハ医学の改革から改善します。



チャコキュア炭マット

(株)森林研究所、(独)産業技術総合研究所

断熱性がよく柔らかなクッションの上に炭層を設けた防水性の介護用炭マットです。炭層は備長炭が70%で構成され、凹凸面になっているため、空気の流通に優れ、吸臭性、吸汗性、調湿性があり、折り曲げが自由で汚れません。遠赤外線放射エネルギーはセラミックスや鉱物より優れています。



ぐーっと楽シャツ・足楽そっくす

(株)トータス

肌着が外着に変身。機能繊維による、ずれないL字型ソックスと共にお楽しみ下さい！ アウターぐーっと楽シャツは衿・袖取り外し可能です。



Moujonjon バリアフリー子供服

高浦義子

気管切開や緊張の強いお子様にも安心。日本製。良質素材
 ●下着・Tシャツ:前全開、着丈が一般比+10cmでずり上がり防止の股下ホック付、脇下にひし形マチ入●パンツ:ウエスト総ゴム、股上が10cm長く抱き上げてもお腹や背中が出ません●つなぎ:前&股下全開でオムツ替えも楽々●点滴シャツ:両腕&前全開で針を刺したまま着脱可



上肢支援ロボットアーム

(独)産業技術総合研究所

腕の不自由な方が、自らの腕の代わりに使うことのできる上肢支援ロボットアームです。ご本人が、指先など動かすことのできる体の一部を使って上肢支援ロボットアームを操作します。小型・軽量のため電動車いすやテーブルに簡単に取り付け・取外しができます。